



スピードコントローラ/共通注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および各シリーズの個別注意事項も併せてご確認ください。

選定

警告

- 仕様をご確認ください。

本カタログに掲載のスピードコントローラは、圧縮空気用として設計されています。圧縮空気以外の流体を使用する場合は、予め当社にご相談ください。

なお、仕様の範囲外の圧力や温度では、破壊や作動不良の原因となりますので使用しないでください。

- 漏れを認めないストップ弁としては使用できません。

製品仕様上、ある程度の漏れを許容しています。

- シール剤に含まれるPTFEが使用可能か否かをご確認ください。

シール剤付スピードコントローラの場合、シール剤にPTFE（四ふっ化エチレン樹脂）が含まれていますので、予め使用可能か否かをご確認ください。

取付け

警告

- 固定部や連結部が緩まない確実な取付けを行ってください。

取付け強度が不十分ですとスピードコントローラが外れることがあります。

- 機器が適正に作動することを確認するまで、起動しないでください。

取付け後、圧縮空気や電源を接続して適正な機能検査および漏れ検査を行い、正しく取付けられ、安全かつ確実に作動することを確認してから、システムを起動してください。

- 塗装する場合

樹脂部分を塗装しますと、塗料や溶剤によって樹脂へ悪影響を及ぼす恐れがありますので、塗装の可否を予め当社までお問合せください。

また、スピードコントローラに貼付してある銘板などは、消したり、はがしたり、文字を塗りつぶしたりしないでください。

- 流体の流れ方向を確認して取付けてください。

逆向きに取付けた場合、速度調整が効かず、アクチュエータが急に飛び出す場合がありますので危険です。

- ユニバーサルタイプのスピードコントローラであっても、常時回転する場所では使用しないでください。

継手部が破損する場合があります。

- ニードル弁の回転数をご確認ください。

ニードル弁の回転数は、流量特性表を参考にご確認ください。

ニードルの回し過ぎは破損の原因となります。

取付け

警告

- 速度調整は、ニードル全閉状態から徐々に開いて調整してください。

ニードル弁が開いていると、アクチュエータが急に飛び出す場合がありますので危険です。

ニードル弁は時計回転で閉、反時計回転で開ですので、アクチュエータの速度は時計回転で遅くなり、反時計回転で速くなります。

調整後は、必ずロックナットでニードル弁を固定してください。ロックナットがゆるんでいると、アクチュエータの速度が変化する場合がありますので危険です。

- 保守点検に必要なスペースを確保してください。

注意

- 銘板等の形式表示部を、有機溶剤等で拭き取らないでください。

表示の消える原因となります。

配管

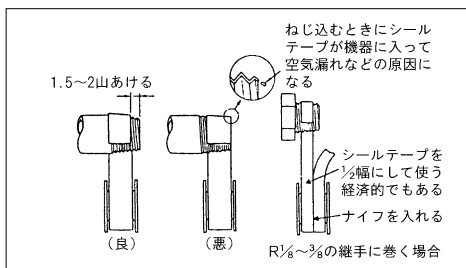
注意

- 配管前の処置

配管する前に、配管内を十分フラッシングして切粉や切削油、ゴミ等を除去してください。

- シールテープの巻き方

ねじ部にシールテープを巻く場合は、ねじ部を1.5~2山残して巻いてください。





スピードコントローラ/共通注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および各シリーズの個別注意事項も併せてご確認ください。

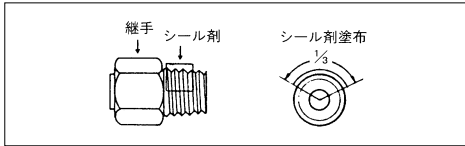
配管

注意

● 液状シール剤の塗り方

ねじ部に液状シール剤を塗る場合は、ねじ部の外周約1/3に適量塗布して、ねじ込んでください。

ねじ部に亜鉛クロメート処理をしたものは、硬化しにくく時間がかかりますのでご注意ください。



● 配管、継手のねじ込み

配管、継手をねじ込む際は、切粉やシール剤が内部に混入しないようにしてください。

また、締付けトルク範囲内で適正に締付けてください。

ポートサイズ	締付けトルク (N・m)
M3	0.3~ 0.5
M5	1.5~ 2.0
R、Rc $\frac{1}{8}$	7.0~ 9.0
R、Rc $\frac{1}{4}$	12 ~14
R、Rc $\frac{3}{8}$	22 ~24
R、Rc $\frac{1}{2}$	28 ~30
R、Rc $\frac{3}{4}$	28 ~30
R、Rc1	36 ~38
R、Rc1 $\frac{1}{4}$	40 ~42
R、Rc1 $\frac{1}{2}$	48 ~50

空気の状態

警告

● 清浄な空気をご使用ください。

圧縮空気中に腐食性ガス、化学薬品や塩分等が含まれていると破損や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。

注意

● エアフィルタを取付けてください。

エアフィルタは、ろ過度5 μ m以下のものを使用してください。

● エアドライヤを設置してください。

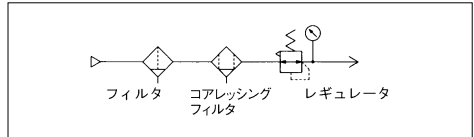
ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、空気圧機器の作動不良の原因となります。エアドライヤを設置して湿度を下げ、ドレンの発生を減少させてください。

空気の状態

注意

● スラッジ対策を施してください。

空気圧機器にコンプレッサオイルの劣化物(スラッジ)が混入すると、作動不良の原因となります。スラッジが発生しにくいコンプレッサオイル(新日本石油:フェアコールA68、出光興産:ダフニスーパ-CS68)を使用されるか、コアレスシグフィルタを設置して、空気圧機器にスラッジが流入することを防止してください。



使用環境

危険

● 爆発性雰囲気のある場所では使用しないでください。

警告

● 腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または付着する場所では使用しないでください。

● 振動または衝撃が直接スピードコントローラに加わる場所では使用しないでください。

● 直射日光が当たる場合、保護カバー等で避けてください。

● 周囲に熱源がある場合、放射熱を遮断してください。

● 溶接時のスパッタが飛散する場所では、保護カバー等の防護対策を施してください。

スパッタによってプラスチック部品などが焼損し、火災を引き起こすことがあります。

VA01
24

VA05
24

VA01
23

VA01
33/34

MPV3

MPV4

真空
バンド

固定式
金具

MPS
MVS

コイル
(はげが)

真空
ポンプ

インライン
フィルタ

7ポッド
コントローラ

排気
絞り弁

外殻
メッキ

シャル
バルブ

チェック
バルブ

パーマ
ストップ

インスタ
ント継手

チューブ

エア
マフラー

ローリ
ジョイント

ジョイス

P3N

ミニチュア

HP10

ドライヤ

エアレガ



スピードコントローラ/共通注意事項③

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および各シリーズの個別注意事項も併せてご確認ください。

保守点検



警告

●保守前点検

負荷の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから、供給する空気と設備の電源を遮断し、システム内の残圧を排出してから行ってください。

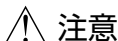
●保守後点検

再起動する場合は、アクチュエータなどの飛び出し防止処置がなされていることを確認してから、空気圧システムに圧縮空気や電源を接続して適正な機能検査および漏れ検査を行い、正しく取付けられ、安全かつ確実に作動することを確認してから、システムを起動してください。

●スピードコントローラの分解

スピードコントローラを分解する場合は、予め当社にご相談ください。

保守点検



注意

●ドレン抜き

空気の質を維持するために、エアフィルタのドレン抜きを定期的に行ってください。

VA01
24

VA05
24

VA01
23

VA01
33/34

MPV3

MPV4

真空
パッド

固定式
金具

MPS
MVS

コラム
（ピエゾ）

真空
ポンプ

インライン
フィルタ

スピード
コントローラ

排気
絞り弁

リカバリ
バルブ

シフト
バルブ

チェック
バルブ

パーマ
ストップ

インスタ
ント継手

チューブ

エア
マフラー

ロータ
ジョイント

シリーズ

P3N

ミニチュア

HP10

ドライヤ

コグレサ